

研修科目	DX推進に向けた業務改革研修
研修の目的	職員のDXに関する知識の底上げを図り、具体的な業務改革の推進に直結する知識・スキルを持ったDX人材の育成を目指す。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・DXに関する情勢を理解し、基礎知識を習得させる。 ・DXに必要なスキルを習得・向上させる。 ・受講者自身の業務におけるDXを検討・計画し、実際に試行する。
受講対象者	係長級以下の職員
受講予定人数	60名程度(30名程度×2)
研修日数・時間 ・回数	計3回程度の連続研修を2クール実施 (1回当たりの講義時間等については提案内容に含めること)
実施予定期	令和6年9月～令和7年2月中旬 (概ね3か月間で3回程度の研修を実施するものとする。)
研修方法	<p>対面での講義や演習を中心とする。</p> <p>※対面及びオンラインでの実施を組み合わせることも可能であるため、必要に応じて提案内容に含めること。</p>
研修内容	<p>1 DXに関する情勢の理解と基礎知識の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自治体を取り巻くDXの状況を理解する。 ○DXに関する基礎知識、DX人材に求められる役割を理解する。 ○DX人材に求められる必要な視点・考え方を理解する。 <p>※最新のトレンドや事例を反映した内容とすること</p> <p>2 デジタル技術を活用した業務改革に必要なスキルの習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ○業務改革に必要なデジタルリテラシー(近年トレンドとなっているDXツールに関する知識を含む)、マネジメントスキルを習得する。 ○DXに必要な「デザイン思考」、「ビジネスアーキテクト」の考え方を学び、模擬演習等を通じて、業務を可視化・分析する手法を習得する。 <p>※講義内で紹介するDXツールは、本市と事前に調整を行うこと</p> <p>3 デジタル技術を活用した業務改革の検討・計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受講者自身の業務の可視化・分析を実施 ○受講者自身の業務において実効性あるDXツールの導入を検討・計画 <p>※上記で検討・計画したことを研修期間中に試行する。</p> <p>4 実践結果を踏まえた振り返りと再検討</p> <p>各受講者が試行した結果について振り返り、グループワーク等においてフィードバックする中で分析し、次の展開を検討する。</p> <p>※1 研修期間中、適宜、各受講者のサポートを行うこと</p> <p>※2 事前課題、事後課題の適切な設定により、効果的に3回の研修を実施すること</p> <p>※3 ディスカッションやグループワーク等の演習を用いて、受講者の経験等を共有化し、気付きを促すなどの工夫をすること</p>
上限金額(税込)	2,500,000円